

# 採択団体事業内容(採択団体からの報告を基に作成) : 長野県

## 事業背景・目的

### 【背景・課題】

#### NagaNet参加者同士・県民や企業等との交流不足

長野県では、JET参加者が地域と十分につながれないまま帰国し、関係が途切れることや、外国人の視点や発信力を活かせていない課題があった。そこで令和6年度に、Discordを活用した国際交流ネットワーク「NagaNet」を立ち上げ、対象を拡大してきたが、現在は情報発信が中心で、参加者同士や地域との自発的な交流が進んでいない。

### 【目的】

#### NagaNetの活性化

国内外のNagaNet参加者が対面で交流するプログラムを実施し、顔の見える関係の構築とネットワークの取組・可能性の共有を図る。あわせて、企業や自治体など地域との連携に対する理解を深め、海外参加者との連携促進や参加者同士の自主的交流、外国人と地域とのつながりを強化することで、NagaNetを持続的で活発な国際交流プラットフォームへ発展させる。

## 実施内容

### 1. 国内外のネットワーク参加者が集い、NagaNetの取組や地域との連携の可能性について企業や自治体等の関係者と共に考えるプログラム「NagaNet Connect」を開催

- 郷土料理体験や伝統工芸体験等を通じて、県の伝統や文化、人の温かさに触れてもらい、長野県の魅力を新たな視点から発見してもらう
- 県内企業や伝統工芸職人、外国人地域おこし協力隊との意見交換を通じて、長野県産品の輸出やインバウンドの拡大、地域課題の解決等に活かしていくためのアイデアを、各国の参加者の視点から助言・提案等してもらう
- NagaNetが今後も活動を活性化していくための仕組みづくりや、地域と関わりを持つためのアイデアについて、県内企業や自治体等の関係者と共に、グループワークやシンポジウムを通じて考える機会を創出する

## 目標・成果

### 今年度

### 来年度以降

指標	目標値	計測方法	実績値	評価
NagaNet大使として委嘱した人数	9人	委嘱状リスト	12人	○
NagaNetサポーターとして委嘱した人数	15人	委嘱状リスト	20人	○
アンケートで「今回のプログラムを通じて長野県に愛着が深まった」と回答した割合	8割	アンケート調査	93%	○
アンケートで「今後NagaNetと連携したい」と回答した方の割合	8割	アンケート調査	100%	○
今回のプログラムをきっかけにNagaNetを認知した団体数	50団体	電話・メール等における周知件数	92団体	○
NagaNetと地域の連携を強化するための新規アイデア数	10件	グループワークでの発案数	100件以上	○

### 【初期アウトカム】

- 委託されたNagaNet大使が、海外で開催される日本関連イベント等の場において、県産品や伝統工芸品をPRする
- NagaNetサポーターが主体となってNagaNetと地域をつなぐイベントを企画・運営
- NagaNetの活動内容や、連携を目的とした問い合わせが増える

### 【中間アウトカム】

- SNS等での発信が継続的に行われ、県の観光PR用公式Instagramのフォロワー数やエンゲージメントが増加する
- NagaNetと連携したい県民、自治体、企業等が増え、イベント等が県内各地で実施される

### 【長期アウトカム】

- 海外での長野県の認知度が高まり、自然や文化など県の魅力が広く理解されることで、県への好感度が上昇し、長野県に関心を持つ事業者や観光客が増加する。こうした関心の拡大が、海外との交流人口の増加や地域貢献につながり、地域の好循環を生み出していく
- 参加者を対象としたキャリアイベント等が積極的に行われ、県内での就職を検討・希望する参加者が増えることで、多文化共生や外国人労働者の雇用環境の整備が促進され、新たな外国人の受入れや国際交流が増加していく